

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」廿日市校			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 21日		～	2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関との連携	病院・園・学校・児童会など、保護者様からの要望がありましたら、児発管や担当が必要に応じて訪問させていただきます。また関係機関と協力し、外部イベントを実施しております。	今後も継続して外部と連携したイベントを開催するとともに、利用者様がより充実した社会生活が営めるように、様々な関係機関とのつながりを増やしていきます。
2	保護者支援	支援の終了後、必ず保護者の方とお話しする時間を設けております。なので、ご家庭や学校の相談を気軽にすることが出来ます。	今後は、保護者向けの勉強会や保護者同士の交流が深められるような機会が設けられるようにしていきます。
3	全国に約200か所事業所がある	定期的に複数の校舎と連携を取り合い、事例検討会や研修・支援の幅が広がるような見学等を行っております。	今後も継続して連携を取っていくとともに、利用されているお子さんが、全国の「きらり」とつながりが持てるようなイベントを計画していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がない	私たちは、「お子様が頑張ったこと・できるようになったことをその場で褒めて欲しい」、「送迎の時間をお子様と保護者様大切な時間としてほしい」との思いがあり、送迎は行っておりません。	なるべく利用者様のご希望の日にご利用できるよう、日時の調整をさせていただきます。また、「連れてきてよかった」と思えるような支援の提供ができるよう、職員一同、支援の質の向上を目指します。
2	時間が短い	こどもの集中力・質の担保を考え、1時間で区切らせていただいています。短い時間だからこそ、職員全員「貴重な時間」と捉え、お子様と真摯に向き合っております。	不定期のイベントや支援上必要な場合には、1時間30分以上支援させていただく事もあります。もしご要望等ありましたら、ご相談ください。
3	大型遊具がない	建物の構造上、大型遊具の取り付けが困難となっております。また大型遊具を使用する際の職員数にも課題があります。	大型遊具の使用がなくても、身体の機能面が高められるように、全国約200か所以上ある「きらり」「コベル」の専門職員さんと相談しながら、その子に合わせたプログラムを立案していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」廿日市校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

7名

回収数 6名(名)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	3	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	2	1	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	2	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	2	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	4		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	1	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」廿日市校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		1階と2階に支援室があり、大部屋と小部屋に分かれているので、特性や活動内容に合わせて使い分けられています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準を満たした人数の職員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	手すりを設置し、利用時は必ず職員が同伴しています。	階段が急であり、トイレが2階にのみ設置されています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用時間ごとに机や椅子のアルコール消毒を行い、清潔を保っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		1階と2階に支援室があり、大部屋と小部屋に分かれているため特性や状況に合わせた対応ができる環境が設定されています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		設定した目標を職員間で共有し、達成に向けて活動しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様に評価アンケートにご協力いただき、意向を把握したうえで業務の改善、向上に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティング等を通して職員間で意見を共有し、業務の改善・向上に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	第三者委員会を設置しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		オンラインでの社内研修や事例検討会に積極的に参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		発達の特性、様子に合わせて支援プログラムを作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		観察等の評価を行い、特性に応じた計画の立案を心がけています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で情報共有を行い、どのような支援がより良いものになるか相談して方針を定めています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で情報共有を行い、計画に基づいて支援内容を相談しながら定めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		様々なアセスメントツールを活用し、子どもの様子・状況を把握しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域に基づいて利用者にとっての利益になりえる支援を相談しながら定めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	指導員間でどのような方針で進めていくか相談し、立案しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		利用者に合わせて、プログラム内容を変更し、難易度を調整しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別での活動を中心に、利用者に合わせて集団での活動の参加も促しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	基本的には、指導員間でどのような方針で進めていくか相談し、立案しています。	出来ていない時もあるので、しっかり行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	翌日の朝礼で、活動内容や子どもの様子を共有しています。	時短職員がいるため、全体での振り返りが行えていません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援後には必ず記入し、活動の様子を振り返りながら次回の支援プログラムの作成に繋がります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、今後の方針について保護者、利用者から聞き取り、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		事業所の中で一番把握している職員が参加するよう、時間調整等を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関との連携を定期的に行い、事業所での様子、関係機関先での様子の情報共有を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		支援内容の情報共有を定期的に行い、事業所外でも円滑に生活できるように集団の参加を促したり関係機関連携を行う等しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	ご要望があれば、支援内容、どのような対応が求められるか等の情報共有を行っています。	気軽に相談していただけるように、保護者の方としっかり連携を取っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		今年度は連携が取れなかったため、今後はしっかり連携を取っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	不定期ではありますが、イベントを開催し、地域のこどもとも交流できる場を設けています。	今後は事業所内でも検討を行い、積極的に地域の活動にも参加していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		支援後に必ずフィードバックを行い、良い点、課題点をそれぞれ共有し、今後の方針について話し合う事ができています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	子育てスペース等を設け、情報共有ができる場を提供したり、講義型のイベントを開催して、専門家からの情報提供する場を設けています。	今後は保護者向けの勉強会や相談会を行っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約前に必ず説明するようにし、同意をもらってから契約するようにしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		定期的に関き取りを行い、方向性を定めるようにしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		同意を得てから支援を行うようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的に聞き取りを行い、状況に応じて面談の場等を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	子育てスペースを設け、保護者間での情報交換ができるように場を設けています。	今後は保護者向けの勉強会や相談会を行います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		ご意見を頂いた際には、その内容を周知し、対応策を話し合い、今後同様の事がないように徹底しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		SNS、ブログを活用し、活動内容、イベントの様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		頂いた情報が漏れないように、鍵のかかったロッカーで保管し、破棄する際にはシュレッダーをするようにしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		利用者に合わせて視覚的にも分かるように配慮したり、専門的な内容であれば、理解しやすい表現等で支援のフィードバックを行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		参加無料のイベントやふれあいスペースなど実施しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に見直し、改善点があれば、更新をしています。更新した内容は指導員を中心に情報共有を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		緊急時を想定し、避難訓練等を行っています。日頃からハザードマップ、避難所の確認も行っていきます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に服薬、疾患、アレルギーについて確認をし、指導員間で情報共有を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	基本的に食品提供する支援は行わないようにしております。	食品提供がある場合には医師の指示のもと行うように徹底しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に避難訓練に利用児も参加していただいています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			今後周知を行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを共有し改善点について検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年4回研修実施しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束が必要と思われる場合は保護者の承諾を得て計画に記載しています。		